

湘南ふくしネットワークオンブズマン活動宣言

前 文

私たちオンブズマンは、施設や地域において、福祉のサービスを利用または必要とする人たち（以下、「利用者の人たち」という）の権利を守り、その人が決めた、その人らしい生活を実現するために活動します。

私たちは、利用者の人たちの意見に耳を傾け、それらの人たちがかかえている問題に対し、一所懸命にとりくみ、アイデアを出し合い、持てるだけの力を集めて、利用者の人たちの権利を守り、その人らしい生活の実現のために役立ちたいと思います。そのためにはぜひ、まわりにいる人たちにも協力をさせていただくことが必要になります。

ただし私たちは、あくまでも利用者の人たちの権利を守ることを第一に考えています。このような立場をとりますから、活動のなかで、ときには利用者の人たちのまわりにいる人、たとえば、施設を経営する人や施設で働く人、あるいは役所の人たちなどと対立することがあるかもしれません。

しかし、そのようなときでも私たちは、何よりも利用者の人たちの権利を守り、かつ実現することを第一に考えたいと思っています。それは決してまわりの人たちと対立することを好んだり、批判することを目的としているではありません。

私たちは、いろいろな立場の人と正面から向き合っ、真剣に話し合い、協力しあっていたいと考えます。あるときは意見を異にしながらも、利用者の人たちの声に耳を傾け、一人ひとりの声を実現するために全力を注ぎます。

そして一人ひとりの声の実現をその人だけのものとするのではなく、この活動を通して、まず私たちの住む湘南、そして神奈川県の人々の幸福を実現したいと思っています。さらにこのような活動の輪をひろげ、福祉社会の構築に役立ちたいと願っています。

オンブズマン活動宣言

1. 私たちは、「権利」を「その人らしく生きるために欠かせないもの」ととらえ、これを守り、かつ実現するために活動します。
2. 私たちは、「権利」を奪うこと、特に体罰、虐待、拘束などを絶対に許しません。
3. 私たちは、その人自身が決めたこと、考えたこと、訴えたことを尊重し、秘密を守り、最善の利益のために活動します。
4. 私たちは、障害者・高齢者・児童一人ひとりが市民として地域社会でともに暮らせるよう、社会の変革に努めます。
5. 私たちは、利用者の人たち、まわりにいる人たち、地域のあらゆる人たちと協力し、ノーマライゼーション社会の実現をめざします。

1997年7月1日